

～新しい職員の紹介～

はじめまして。水野浩明と申します。この度御縁がありまして今年の4月より新納会計事務所にて働かせて頂いております。今回このようなスペースを頂いたのが簡単ですが自己紹介をしたいと思います。

そもそも私は簿記や会計とは無縁な人で、学生時代にはパソコン関係の勉強をしていて「将来はプログラマーになるだろうな」と考えていた時期もありました。では、なぜ今は会計事務所にいるのでしょうか？

私の夢が変わったきっかけは色々ありましたが、その中で印象に残っているものを1つ紹介したいと思います。学生の時に私はある NPO 法人のメンバーに加入していました。NPO の正式名称は「特定非営利活動法人」簡単に言うとお金を稼ぐ事を目的としない法人です。つまり、余裕のある資金が手元に全くない状態でした。そこで「お金がない状態でどうやって活動すればいいのか」という素朴な疑問を感じて簿記・会計を勉強したのがきっかけで、勉強すればするほど興味が湧きました。

やはり世の中何をやるにもお金は大事です。私はこの新納会計事務所ですれどもお客様の資金繰りや経営状態が良くなるように日々勉強に勤む姿勢で頑張っていきますので、どうか宜しくお願い致します。

水野 浩明



東日本大震災復興緊急保証制度のお知らせ

信用保証協会が東日本大震災により経営の安定に支障を生じている中小企業者の方に対し、一般枠とは別枠での保証制度として新設しました。

震災により直接だけではなく、間接被害を受けた中小企業者の中、特定被災区域外に事業所を有し、震災の影響により、下記の売上減少要因に該当し、震災後最近3ヶ月の売上高等が前年同期に比して15%以上減少している方が、市町村長の認証を受けて融資を申請できます。

売上減少主な要因

特定被災区域内の消費者の需要の減少による販売の減少
特定被災区域外の取引先が、震災に起因して事業活動を停止または縮小したことによる販売の減少
震災に起因した取引先からの契約の解除または顧客の減少による販売の減少
イベントの自粛による販売の減少

保証限度額	有担保 2 億円	無担保 8,000 万円
貸付利率	金融機関所定の利率	
保証料率	年 0.80%	
保証期間	10 年（据置期間は 2 年以内）	
担保	無担保保証は不要	
保証人	個人・・・原則不要	法人・・・原則代表者
取扱期間	平成 23 年 5 月 23 日～平成 24 年 3 月 31 日	

PROGRESS

プログレス

新納会計事務所・(株)新納経営

第 43 号

〒604 0031 京都市中京区新町通二条下ル頭町16-1

TEL: 075 (231) 0335 FAX: 075 (231) 0473

http://www.shinnou.net/

e-mail: smc-keiei@tkcnf.or.jp

平成 23 年 7 月 1 日発行

PROGRESS (プログレス) とは「進歩」の意。皆様と共に進歩して行きたいという願いを込め発行します。

～ 絆 ～

所長 税理士 新納 賢二

東日本大震災後、報道でよく見聞きする言葉があります。

「今ほど絆が深まったことはない」「今こそ絆を強めこの災難を乗り越えよう」

私がこの言葉を聞いて思い出すのは、倉本聡氏脚本によるテレビドラマ「北の国から」である。さだまさし作曲のテーマ音楽も素晴らしいが、何よりもドラマを貫いているテーマが夫婦、親子、近隣の人々との様々な人間関係が織り成す愛と葛藤の形を描き、人は皆つながり合って生き、生かされているかを、北の大地の自然との共生の中で考え感じさせられる感動のドラマであった。

東京での生活に疲れ、妻と離婚し故郷北海道富良野に帰って来た主人公一家(父と二人の子)が地域の人々との交流の中から、絆を深め成長していく内容である。この物語に描かれている人間関係は、昔は都市部でも向こう三軒両隣り制度があり、農村部では今でも田植え、稲刈りなどの農の営みや住生活の営みを維持していく為の相互扶助の精神が存在している。

日本人は昔から相互に心の絆ネットワークを張り巡らして生活してきた。今回の震災は人間関係が希薄になりつつある現代社会へのもう一つの警鐘かもしれない。

これを事業経営に置き換えると、事業経営の第一は「顧客創造」です。事業者とお客様の理想的な姿は、次の様であろう。



経営者がお客様が喜ぶ商品を作る

- お客様喜ぶ
- 経営者は喜び、お客様に感謝の意を伝える
- お客様は感動する
- 口コミで広がり新規顧客増える

経営者とお客様がエールを送り合った時、両者の間には、確固たる「心の絆」が芽生えるであろう。その時繁盛店が生まれる。

< 目次 >

1 ページ：所長挨拶

2 ページ：特別寄稿記事「頑張れ東北！がんばろう日本！」

3 ページ：新しいお客様のご紹介

4 ページ：職員紹介

東日本大震災復興緊急保証制度のお知らせ

『頑張れ東北！ がんばろう日本！』

仏教墓塔研究会 会長 福原 堂礎

マグニチュード9と言う大震災が東日本を襲いました。同じ日本で生活をしていながら、この過酷な状況も日本なのです。どうする事も出来ないもどかしさでテレビを見つめておりました。私が主宰する全国仏教墓塔研修会も回を重ねて23回目を終えました。岩手宮城福島からも大勢の石材店や寺院が研修に参加しておられます。如何なさっておられるのかと心配も募っておりました。会員各社に義援金のお話をしたところ、瞬く間に暖かな励ましとお金が集まったのです。



写真左：福原 堂礎 様

東北三県には該当する被災社が10社あります。支援物資としてビールケースを10箱積んで、軽乗用車で五月の連休を利用して出掛けました。高速道路の状況を鑑みて新潟経由で仙台へ入りました。ホテルが確保できないので車中泊です。セーターとジャンパーを着込んでカイロを4個当てても寒くて暖房を入れました。被災者が寝ている体育館はどうなのでしょう。寝られるはずもありません。まして、大勢の他人が共同生活をするのですから、我慢も極限のほうです。人に聞きますと2週間が限界と言います。

石巻の石材店を訪れました。河口から近くて湾曲をした流れがまともに襲っていました。回りも壊滅です。一軒たりともまともに立っている物はありません。途方に暮れていると思いきや、至って元気なのです。不可思議な態度です。被災をして50日目ともなればクソ根性が芽生えているのでしょうか。明るく笑い飛ばすばかりです。霊園の墓石も倒れていますが、店の展示品の墓石には接着剤が使われておらず、組み立てて置くだけです。簡単に倒れて無残な姿を曝しています。

霊園へ行きますと、聖なる場所には程遠く、穢れた土砂が侵入し、田圃が乾燥したようにヒビが入って見苦しいのです。ゴミや雑草や廃材が絡まっています。拭き掃除に汗を流す人も多く居られますが、ご先祖様の痛ましい無残な姿を見る事は、大変辛く無残極まる状況なのです。先祖伝来の農業や漁業で暮らして来られた人達にとって、もはや作物を育てる土壌や漁が出来る場所が無いのです。塩に犯された田畑をどうするのですか、跡形も無くなった郷里をどう立て直せば良いのでしょうか。会社を経営して行く上で借入金がある事は付き物です。先の見えない状況では、途方にくれて悩み苦しみ、私ならば自殺してしまいます。そう言う修羅場の地獄絵なのです。そう言う極限に遭いながら、各人が明るくて元気で前向きに考えておられたことが何よりの救いですし、励ましに行った私が救われて帰ってきました。僅かな義援金に深く頭を下げて感謝して下さいました。励まして助け合わなければ、人生お互い様なのです。

韓国からは翌日に救援隊が来てくれました、中近東の名前も知らない国からはガソリンの無料援助もありました。自衛隊や警察や消防も一生懸命で大変ご苦労様です。しかし彼らは給料も出ますし手当ても出ます。私が感心して涙が出たのは、学生ボランティアの諸君です。東京から無償で駆けつけ重いスコップで土砂の取り除き作業をしているのです。原宿を歩いていた女の子も一生懸命です。彼らにホテルはありませんし食べ物もおにぎりです。震災から三月が過ぎました。日本人って素晴らしいですね。普通であれば暴動が起きますよ。遅々として進まない、復興活動。我慢をし、助け合って、復旧に掛けておられる被災者の皆様方へ、一日も早い元の生活に戻られますように只々祈るばかりです。私はカメラを持って行き

ました。お墓などの被災の状況を撮りたかったのです。行って見て気が付きました。一枚も撮る事が出来ません、撮れないのです。清浄な墓地がひっくり返っているのです。まるで死者にカメラを向けるような気がしました。全走行2000キロ、頑張っている人を見て来ましたし、応援をする人達が居る事も知りました。社会ってそうなのですよ。助け合う精神こそが社会の社会人の根幹なのです。

新しいお客様のご紹介

株式会社 ARIMA community

この度、当事務所の新しい顧問先様となりました株式会社 ARIMA community 様は、インターネットの回線取次業を主にされている会社です。

代表取締役の井上 有紀 様いわく「季節感溢れる京都の町を中心に、宅内のインターネットサービスをご案内し、トータルサポートさせて頂いております。社員は皆元気いっぱい、お客様に安心してサービスを利用して頂けるように、日々勉強をしながら笑顔を決やさず努力しております。これからもお客様の満足度を指針に、余すことなく努力を重ねて精進して参ります。」とのことでした。

インターネット回線でお悩みの方は、是非一度、株式会社 ARIMA community 様にご連絡下さい。



- 京都市上京区養安町242-1
- ROOST 御所西5F
- 株式会社 ARIMA community
- 代表取締役 井上 有紀
- 電話：075-229-6890
- FAX：075-229-6891

株式会社 Straight

株式会社 Straight 様は昨年2010年の12月に駒田社長が一人で設立された、ヘルパー派遣の会社です。病気や障害により日常生活に支援を必要とする方にヘルパーを派遣し、さまざまな支援を提供されています。

また、病気やお困りごとの相談を、いつでも、どなたからでも、無料でお受けされ、お一人おひとりに適した行政の相談窓口や地域の相談専門機関を紹介されています。



社長
自画像

駒田社長は、これまで培った、知的障害者の方への支援業務の経験を生かしてこのたび独立され、会社立ち上げ以降一日も休まずお仕事されており、夢に向かって邁進されています！事業を開始して間もないのにご利用希望者の方が殺到し、新規のご利用契約はお断りされているそうです。これも社長のお人柄ゆえでしょう。

2011年秋にはアスペルガー症候群・高機能自閉症の方への就労支援をテーマに、講演会を開催されます。ご興味のある方はぜひご参加ください。(詳しくはウェブサイトをご覧ください。)

株式会社 Straight 代表取締役 駒田 健一

〒602-0898 京都市上京区相国寺門前町699-2
烏丸今出川ノースワン101号
電話/FAX:075-200-1643
Mail: office.straight@gmail.com
HP: straightinc.blog10.fc2.com/